ユニバーサルデザインフォントを採用しています!

今月号から「広報とうかい」の本文に、高齢者や 視覚の弱い方でも誤読しにくいとされる書体「ユニ バーサルデザインフォント(UDフォント)」を採用し ています。

ユニバーサルデザインフォントを採用すること で、視力や環境に左右されず、誰もが読みやすく、 村民の皆さんに親しみやすい広報誌を目指します。

今後も、分かりやすい文章の表現や見やすいレイ アウトになるよう改善に向けて取り組みますので、 皆さんのご理解をお願いします。

【問い合わせ】広報広聴課広報戦略推進担当(☎282-1711 内線1304)

ユニバーサルデザインフォントとは?

より多くの方へ適切な情報を伝え られるよう、ユニバーサルデザイン の視点から、「文字のかたちが分かり やすいこと」、「読みまちがえにくいこ と」などに配慮して制作された書体の ことです。





ふるさと歴訪

歴史を再発

見

見本



S36 S36

斎藤博士は、

旧制第二高等学校、

東京帝

18日

空間を大きく配置

忠博

村

濁点・半濁点を見やすく設計

拝聴した。 終 日 0 12

天寿を全うされた事を付記しておきたい。

なお博士は2013年7月21日、

105

歳で

されている。

本や資 その した講 てい ちに貴重 後まで、学生た 早朝から午 ただだい 素 義 義をし を 晴 料 を示 一な拓 私 6



東海村下諏訪横穴で線刻画を調査する斎藤博士

和 30 博士(当時、 に、県立歴史館の発展にも大きく貢献した。 である。 国の戦後の文化保護を推し進めた第一人者 文化財保護委員会(現文化庁)に移り、 国大学を卒業後、京都大学の助手、 督府の慶州博物館を経て、昭和22年文部省 博士と茨城県内の遺跡との関わりは、 その後は県史編さんの中心メンバーと 9 8 6 年の行方市三昧塚古墳の調査に始ま 考古学編の総括責任者であると同時 年12月、 78歳)に、「東アジアの壁画古 茨城大学人文学部 朝鮮総 わが 昭

下に龍

のような図像が確認できた。

もらった。

画題は大半が人物画で、

に描かれた稚拙な線刻画の真意を確認して

3人で小さく狭い横穴内に入り、

博士に壁

える。村教育委員会の文化財係長も同行し、 は墳丘状のマウンドを有する点で重要と 村下ノ諏訪横穴群」を案内した。この横穴

宿舎に帰った。 山古墳等を案内して、 きたい。この後、 であろうと話していたことを書き添えてお

墳」と題する集中講義をお願いした。

は特に、

奥壁の人物画は7世紀ごろのも

大変喜んでいたのが印象的であった。

いでねえの…」と、

東北弁のアクセントで

のような図像をのぞいて「茂木君これは

世の落首であろうと案内したが、

博士は龍 私は後 西側壁

11

予定地とされたものの、 成される事となった際に、進入道路計画 なかった。後日この付近に村営の霊園が造 その後、壁画の正式な調査を行う機会は 計画の一 部が変更され、 博士の発言が重視 現在も保

浦 市立博物館館 長

は、 午後からの講義を止 雅

(UD) FONT

博士に須和間遺跡、

私たちは夕方水戸